

# 外国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 6年〇組 (〇〇教室)  
指導者 〇〇 〇〇 ALT: 〇〇 〇〇

1 単元名 Unit 4 My Summer Vacation was great. 夏休みの思い出 (Blue Sky elementary 6)

## 2 教材観

### (1) 学習指導要領上の位置付け

目標

(4) 話すこと (発表)

イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

内容

(1) エ 文及び文構造

f 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの

(3) ① エ 話すこと [発表]

(ア) 時刻や日時、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動。

オ 書くこと

(ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。

### (2) 単元の価値

本単元では、夏休みの思い出を話題として取り上げ、went, saw, enjoyed, ate などの動詞の過去形を扱う。2学期が始まった直後に夏休み中の出来事について伝え合う機会を設定することで、児童は伝えたい思いや知りたい気持ちをもって主体的にコミュニケーション活動に取り組むことが期待できる。また、多くの友達と伝え合うことによって、身近な事柄について語句や表現を広げることができる。さらに、これまでスポーツ等について、I like soccer. のように表していたが、I enjoyed playing soccer. のように動名詞を含む文を扱うことによって、伝えたい内容をより詳しく述べるようになると思われる。

### (3) 今後の学習への活用

※本単元での学習が、今後の学習や他学年の学習にどう活用されるのかを記述する。

本単元で学習した過去の出来事や感想を表す表現は、昨日のことや行事のこと等を話題にした Small Talk や Unit 5 「週末のできごと」や Unit 6 「小学校の思い出」で自分が実際に行ったことやそのときの感想等について伝え合う活動で活用される。

## 3 児童生徒の実態及び指導方針 (〇名)

### (1) 既習の学習内容や活動

※本単元を指導する上で参考となる既習の学習や活動を記述する。

- ・ Unit 2 「Welcome to Japan」では、自分の住む地域でできることを紹介する活動で、食べ物や観光、地域の様子や感想を ALT に伝えた。第5学年の自分の行ってみたい外国を紹介する活動でも "You can eat pizza." のように eat や see を用いた表現や感想を表す語句に十分慣れ親しんでいる。
- ・ 第6学年では、各単元で十分慣れ親しんだ表現を例として、例文の一部を自分の考えや気持ちを表す別の語に変えて書くことに取り組んでいる。

### (2) 本単元に関わる児童生徒の実態

※本単元のわらいや学習活動に関わる実態を3観点で記述する。

- ・ 音声で英文には慣れ親しんでおり、ほとんどの児童が日本語と英語の語順の違いや主語と述語の関係を理解している。ただ、英文を書く際、語と語を続けて書いてしまったり、can の後の動詞を書き忘れてしまったりする児童がいる。
- ・ 自分の考えや気持ちを英語で話すことに積極的な児童が多い反面、話すスピードが速かったり、聞いているときの反応が少なかったりする児童もいる。
- ・ 英語でやり取りする情報量が多くなってくると、恥ずかしさや自信のなさから声が小さくなってしまいう児童がいる。

### (3) 指導方針

※伸ばしたい資質・能力、既習の学習内容や活動、実態を踏まえ、単元全体に関わる指導上の工夫を記述する。

- ・ 児童が夏休みについて話す必要性を感じられるよう、単元を通して ALT が日本の小学生の夏休みについて聞きたい気持ちを言葉や態度で伝える。
- ・ 新出言語材料を段階的に習得できるよう、児童が夏休みに行った場所やその感想、夏休みに見たこと、食べたこと、楽しんだことについて話す言語活動を1単位時間ごとに設定する。
- ・ 伝えたい気持ちや聞きたい気持ちをもちながら意欲的に言語活動に取り組むことができるよう、ねらいとする表現や語彙を用いた言語活動に相手を代えて取り組む活動を設定する。
- ・ 友達との交流を楽しく円滑なものにするためのコミュニケーションポイント (はっきりした声、アイコンタクト等) を意識できるよう教師が実演したり、絵カードを提示したりする。

#### 4 単元の目標

日本の夏休みについて、相手に伝わるように、内容を整理した上で自分の経験や感想などを話したり、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。

外国語活動は「～している」、外国語科は「～できる」

#### 5 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<知識> 夏休みに行った場所や楽しんだこと、見た物や食べた物、その感想を表す語や、I went/saw/enjoyed/ate～. It was～.の表現について理解している。 <技能> 夏休みに行った場所や楽しんだこと、見た物や食べた物、その感想を表す語や、I went/saw/enjoyed/ate～. It was～.の表現を用いて、夏休みの思い出について話す技能を身に付けている。	相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、その出来事や感想などを話している。	相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、その出来事や感想などを話そうとしている。
書くこと	<知識> 夏休みに行った場所や楽しんだこと、見た物や食べた物、その感想を表す語や、I went/saw/enjoyed/ate～. It was～.の表現について理解している。 <技能> 夏休みに行った場所や楽しんだこと、見た物や食べた物、その感想を表す語や、I went/saw/enjoyed/ate～. It was～.の表現を用いて、夏休みの思い出について書く技能を身に付けている。	相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、その出来事や感想などを書いている。	相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、その出来事や感想などを書こうとしている。

※評価規準の設定に当たっては、国立教育政策研究所作成の「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」を参考にして適切に設定する。

※はば3ラIIの「単元のつくり方」等を参考に、単元を構成する。

※ねらいや学習活動は、端的に記述する。

※複数時間をまとめて記述したり、本時に関わりの少ない時間を省略したりなど工夫をする。

#### 6 指導計画（全7時間予定）

○：記録に残す評価

学習過程	時間	○ねらい ・学習活動	※最も中心的な留意点に絞って記述する。 ・主な指導上の留意点	評価の観点		
				技能	思考・判断・表現	態度
つかむ	第1時	○単元の課題を把握し、本単元で学習する語句の言い方に慣れ親しむようにする。 ・教師の Small Talk を聞いて概要を推測し、夏休みの思い出に関心をもつ。 ・ALT が小学生の時に経験した夏休みの思い出について聞き、単元の課題について把握し、見通しをもつ。  ◎単元の課題 ALTの先生や友達と夏休みの思い出を伝え合おう ・クイズを通して、夏休みの思い出を表す表現や語句を知り、慣れ親しむ。	・写真やジェスチャーを使って、分かりやすく伝える。 ・日本との文化の違いを紹介し、日本ではどんな夏休みを過ごすのかをALT が聞きたいと思っている気持ちを伝える。  ・色違いの現在形（カラー）と過去形（セピア色）の絵カードを比較することで、過去を表している動詞に気付かせる。	※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。		
追究する	第2時	○夏休みの感想を話すことができるようにする。 ・世界の夏休みを知る。 ・感想を表す語句に慣れ親しむ。 ・夏休みに行った場所や感想について、友達や先生と伝え合う。 ・伝えたことを英語で書く。 ・子音 (t,v,w,x,y,z) の音読みを理解する。	・外国の気候や文化の違いを紹介する。 ・児童同士のやり取りの後、全体の前で教師が尋ねることで様々な感想を表す表現を聞かせる。 ・例文の一部を変えて自分が実際に行ったことについて表現させる。	※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。		
	第3時	○夏休みに楽しんだことを伝えられるようにする。 ・教師の夏休みに楽しんだことを聞き、意味や使い方、語順などについて確認する。 ・ゲームを通して、動名詞を用いた文を聞いたたり、言ったりして慣れ親しむ。 ・夏休みに行った場所や楽しんだことを友達やALT と伝え合う。 ・伝えたことを英語で書く。	・前時までの表現に加えて、新出言語材料を用いて夏休みについて話す。 ・夏休みに楽しんだことをALT と話す中で、"I enjoyed baseball."に対して、"Watching or Playing?"と尋ねながら、動名詞を用いて詳しく述べる必要性を感じさせる。 ・例文の一部を変えて自分が実際に行ったことについて表現させる。	※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。		

第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みに見たことを伝えられるようにする。</li> <li>・教師の夏休みについて聞き、概要や saw の使い方を推測する。</li> <li>・ゲームを通して、夏休みに見る物についての語句に慣れ親しむ。</li> <li>・夏休みに行った場所や見たことについて友達や ALT と伝え合う。</li> <li>・伝えたことを英語で書く。</li> <li>・単語を聞いて、語頭の文字を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの表現に加えて、新出言語材料を用いて夏休みについて話す。</li> <li>・児童が見た物について尋ねながら、児童の言いたい語句を紹介する。</li> <li>・"How was it?"と感想を尋ねるよう促す。</li> <li>・例文の一部を変えて自分のことを表現させる。</li> <li>・四線における文字の位置を確認しながら書かせる。</li> </ul>	※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。	
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みに食べたことを伝えられるようにする。</li> <li>・教師の夏休みについて聞き、概要や ate の使い方を推測する。</li> <li>・ゲームを通して、夏休みに食べる物についての語句に慣れ親しむ。</li> <li>・夏休みに行った場所や食べたことについて友達や ALT と伝え合う。</li> <li>・伝えたことを英語で書く。</li> <li>・夏休みにしたことを聞き取り、線で結ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの表現に加えて、新出言語材料を用いて夏休みについて話す。</li> <li>・児童が見た物について尋ねながら、児童の言いたい語句を紹介する。</li> <li>・"How was it?"と感想を尋ねるよう促す。</li> <li>・例文の一部を変えて自分のことを表現させる。</li> </ul>	※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。	
まとめる	第6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの思い出を伝え合えるようにする。</li> <li>・教科書にある夏休みの思い出を発表する音声を聞き取り、したことや感想を線で結ぶ。</li> <li>・聞き取ったことを参考にして、自分の夏休みの思い出について友達と伝え合う。</li> <li>・伝えたことについて「夏休みの思い出絵日記」の絵を描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声から聞き取ったことを発表例として参考にするよう促す。</li> <li>・ローテーションでペアの相手を代えることで、繰り返し話したり、友達の表現を参考にしてより分かりやすい表現に変えたりできるようにする。</li> </ul>	発
	第7時【本時】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手によりよく分かってもらえるよう配慮しながら、夏休みの思い出を発表し絵日記を書くことができるようにする。</li> <li>・相手に配慮しながら、前時と違う友達と夏休みの思い出について伝え合う。</li> <li>・伝えたことを「夏休みの思い出絵日記」として書く。</li> <li>・単元の振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見せながら、グループの友達に分かりやすく伝えるよう促す。</li> <li>・中間発表後、コミュニケーションポイントを確認して、夏休みの思い出を伝え合えるようにする。</li> <li>・ALT は感謝と感想を述べ、分かりやすい説明や書き方のポイントを伝える。</li> </ul>	書 発 書 書 書

※記録に残す評価場面を精選し、位置付ける。

## 7 本時

### (1) ねらい

夏休みの思い出を発表したり、絵日記を書く活動を通して、相手によりよく分かってもらえるよう工夫しながら、夏休みの思い出について話したり、書いたりすることができるようにする。

### (2) 準備

絵日記シート、ピクチャーカード

### (3) 展開

※ 教師の立場で記述する。 例:「～できるようにする。」

※「教科書・ノート」は書かない。ここで書かれたものはどのように使われるのかがわかるように、「(3)展開」や「8板書計画」の中に記述する。

学習活動 ・予想される児童生徒の反応	○指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価<評価方法>
※はば7711の「単位時間のつくり方」等を参考にし、主体的・対話的で深い学びになるように計画する。 ※児童生徒の立場で記述する。 ※児童生徒の思考の流れを予想し、主な発問や主な反応も記述する。	※「できるよう～する」のように教師の意図と手立てを明確に記述する。 ※実態を踏まえたり、つまづきを予想したりし、具体的な支援を記述する。 ※主体的・対話的で深い学びになるように、どんな工夫をしていくのか記述する。 ※活動を入れる場合には、どのような目的で、どのように学びを深め、ねらいに迫るのか等の視点からも記述する。
1 あいさつをする。(5分) チャンツを行う。	○前時までの学習について触れながら英語を学習する雰囲気をつくる。 ◎チャンツの内容が分かるようなジェスチャーを早めに示しながら行う。
2 めあてを設定する。(10分) ・前時で描いた絵を発表に使えるかな。 ・ALT の先生にも他の先生にも伝えられるといいな。	○前時の学習活動を生かして単元の課題解決につなげられるよう何ができなか問いかける。 Today's Goal 夏休みの思い出について ALT の先生や友達に分かりやすく発表し、絵日記に書いてまとめよう。
3 本時のゴールとなるモデルを見る。 ・絵を指差しながら話すと分かりやすいな。 ・感想を入れると内容がより詳しく伝わる気がする。	○教師が絵を見せながら、夏休みの思い出の発表例を演示する。 <Demonstration> Hello. This is my summer vacation. (絵を指差しながら) My summer vacation was exciting. I went to the sea. I saw seashells. It was beautiful. I enjoyed fishing. I ate onigiri for lunch. It was delicious. Thank you.


<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の目を見て話をしないと聞く方は分かりにくそうだ。</li> <li>笑顔で話すと楽しさが伝わるな。</li> <li>聞いている人が反応すると話し手はうれしいし、安心して話せる気がするな。</li> </ul>	<p>○聞き手の ALT は、聞く側の反応のモデルとなるよう喜んだり驚いたりしながら発表例を聞く姿を演示する。</p> <p>○相手を意識していない対話例と比較させ、「分かりやすく伝える」ための工夫について児童とやり取りし、コミュニケーションポイントを提示する。</p> <p>&lt;コミュニケーションポイントの例&gt;</p> <p>Clear Voice(はっきりした声) Smile(笑顔) Eye Contact(アイコンタクト) Gesture(身振り手振り) Listening(聞く態度) Reaction(反応)</p>
<p>4 前時に描いた絵を見せながら、夏休みの思い出を発表し合う。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□くんの発表は分かりやすい。</li> </ul>	<p>○前時と違う相手と夏休みの思い出を伝え合えるようグループを編成する。</p> <p>○友達の発表を参考に自分の発表に生かすように話す。</p> <p>◎言葉に詰まっている児童が言いたいことを思い出せるよう、絵の内容に関わる言葉や例文などのヒントを与える。</p>
<p>5 中間発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□さんみたいにやってみよう。</li> <li>△さんの言葉を使ってみよう。</li> </ul>	<p>○分かりやすく伝える工夫が見られた児童を紹介する。</p> <p>○相手を意識して発表している姿に気付くよう、分かりやすく伝えている姿について、聞いていた児童に尋ねたり発表した児童を称賛したりする。</p>
<p>6 再度、夏休みの思い出を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかった自分の経験を英語で言えた。</li> <li>自分の発表を聞いて反応してくれてうれしい。</li> <li>自分も△さんが行ったところに行ってみたいな。</li> </ul>	<p>○より分かりやすくなるように、足りなかったところを付け加えながら発表するように促す。</p> <p>○児童の発表の内容や工夫、聞く側の態度を見取って称賛する。</p> <p>◇思：相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、その出来事や感想などを話している。&lt;行動観察&gt;</p> <p>◇主：相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、その出来事や感想などを話そうとしている。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りカード記述分析&gt;</p>
<p>7 友達に伝えたことを「夏休みの思い出絵日記」に書く。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1語を1つのかたまりのように書かないと読みづらいな。</li> <li>英語でどう書くのかな。</li> <li>楽しさが伝わるように感想を書こう。</li> <li>ALTの先生が読めるように丁寧に分かりやすく書こう。</li> <li>ALTの先生が正しく発音できるように日本語の名前はヘボン式で書こう。</li> </ul>	<p>○読みやすく書くためには、語と語の区切りに注意したり、四線上に正しく書いたりするとよいことを確認する。</p> <p>◎なかなか書き進められない児童には、これまで伝え合ったことを思い出したり、書きためた内容を確認したりするよう伝える。</p> <p>◇知：夏休みに行った場所や見た物、楽しんだことや食べた物、その感想を表す語や、I went/saw/enjoyed/ate ~. It was ~.の表現を用いて、夏休みの思い出について書く技能を身に付けている。</p> <p>&lt;ワークシート記述分析&gt;</p> <p>◇思：相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、音声で十分慣れ親しんだ語句や表現を用いてその出来事や感想などを書いている。&lt;行動観察・ワークシート記述分析&gt;</p> <p>◇主：相手によりよく分かってもらえるように、夏休みの思い出について、音声で十分慣れ親しんだ語句や表現を用いて、その出来事や感想などを書こうとしている。&lt;行動観察・振り返りカード記述分析&gt;</p>
<p>8 振り返りをする。(5分)</p>	<p>○本時のめあてを再確認したり、言語面や内容面、単元を通して振り返ったことなどについて振り返りシートに書くよう伝えたりする。</p> <p>○めあてに沿った振り返りの言葉を紹介する。</p> <p>○ALTは児童が夏休みの思い出を伝えてくれたことに対して称賛する。</p>

## 8 板書計画

※実際に板書をし、写真を貼り付けると分かりやすい。

Unit 4 ALTの先生や友達と夏休みの思い出を伝え合おう。

Today's Goal 夏休みの思い出についてALTの先生や友達に分かりやすく発表し、絵日記に書いてまとめよう。






















My summer vacation was fun.  
I went to the sea.  
I enjoyed fishing.  
I ate oranges for lunch.

My summer vacation was \_\_\_\_\_

I went to \_\_\_\_\_

I enjoyed \_\_\_\_\_

I ate \_\_\_\_\_

				
fun	exciting	good	great	
				
the beach	the lake	the river	the mountains	
				
swimming	camping	fishing	hiking	
				
watermelon	curry and rice	fireworks	flowers	